

# 令和5年度 公益財団法人ひばり事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

## 1 総括

- ① 公益財団法人として法令遵守を徹底し、社会的使命の役割・責任を自覚し、公益・収益の事業バランスを保ち事業推進に取り組むとともに、高島市の施設を管理運営する指定管理者として、利用される方々に安全且つ快適な施設の提供を心掛け、更なるサービス向上に努めた。
- ② 新型コロナウイルス感染症の位置付けが5月8日から5類に移行したことにより、各種大会やイベントも通常開催となったほか、高校・大学等の団体利用も回復傾向にはあるものの、コロナ禍以前の状態には戻りきらなかった。
- ③ 本年度は、夏季繁忙期でお盆と重なり、多くの施設利用者を期待していた8月15日に台風7号が接近したため、利用者の安全を第一に終日全施設を休業したことで収入予想を大きく下まわった。一方冬期間については、暖冬により積雪が少なく鳴野の客足も伸びたほか、除雪にかかる費用も軽減できた。
- ④ 経営面においては、水道光熱費の高止まり・物価の高騰・最低労働賃金の引上げ等により経費削減に取り組むものの、非常に厳しい経営状況を強いられた。また、昨年度まで支給されていたコロナ関連の助成金の打ち切りもあり、本年度は大きな赤字を計上する結果となった。

### (1) 高島市今津総合運動公園

- ① 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学生団体のスポーツ合宿(テニス・水泳)の再開や各種大会が通常開催されたことで、土日祝や夏休みおよび春休み期間中は多くの利用者があった。
- ② 9月16日から18日の3日間「ひばり30周年感謝祭」を開催し、プール無料開放等を行った。17日にはプロテニスプレイヤー、びわ湖放送アナウンサーを招いてのテニスクリニックや国スポ障スポの啓発イベントと連携した催しを行い、約500名が参加され新たな利用者の開拓に努めた。
- ③ 今回が2回目となる「TOYOTAラリーチャレンジびわ湖高島」が9月24日に開催され、昨年(2,500名)を大幅に上回る4,500名が来園され賑わった。
- ④ 台風7号の接近で8月15日が休園となり、当初予定していた「びわ湖高島女子ソフト

ボール大会」が規模縮小となるなど、繁忙期とも重なり少なからず影響が出た。一方冬場は積雪が少なく3月に予定されていた少年サッカー大会や大学のテニス合宿等は全て利用された。

- ⑤ 高島市において、第1グラウンドナイター照明LED化およびスタジアムトイレの洋式化を行っていただいた。

## (2) 家族旅行村ビラデスト今津

- ① キャンプ場の予約を全てネット予約に移行し、4月から好調な利用状況であったが、平日利用が低調であることから、新たに「平日利用割引」を実施し、利用促進に努めた。
- ② グループ専用オートキャンプサイトを新たに増設し、7月15日から提供開始した。
- ③ コテージや交流館の宿泊施設は、予約件数はコロナ前に戻りつつあるが、団体利用の人数が全体的に減少傾向となり、売上げが伸び悩んだ。
- ④ 繁忙期の8月14日、15日に台風7号の接近により施設を閉鎖したことで、売上げが大きく減少した。
- ⑤ 10月11月の秋シーズンは、昨年まで実施されていた県の旅行支援(滋賀旅)が終了したこともあり、売上げが伸び悩んだ。

## (3) 体験交流センターゆめの

- ① 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、「土日祝のみの営業」を「通常営業」に戻した。また、運動公園で実施される大会やイベントも通常開催となり、レストランの利用収入・利用人数もコロナ前の水準近くまで回復した。
- ② 「ひばり30周年感謝祭」では、そば打ち体験を半額で販売し、3日間で44組が体験された。
- ③ 電気・ガス・人件費および様々な食材の高騰により、食事メニューの価格を平均15%の値上げを行った。
- ④ そば打ち体験の利用者は、家族連れや少人数のグループが大半で団体客は少ないものの、利用者数としてはコロナ前に戻りつつある。
- ⑤ レストランの券売機が経年劣化で故障し新品に更新したほか、高島市で冷凍冷蔵庫をそれぞれ購入していただいた。

## 2 健康づくり・スポーツ振興事業(公益目的事業1)

- ① 高齢者が気軽に参加できる運動教室を開催し、健康寿命の延伸に努めた。
- ② 子ども達を対象とした事業としては、運動習慣の形成を目的にスイミング・テニス教室

を中心に実施した。

- ③ 新規利用者、教室参加者を獲得するため、SNSやホームページを活用して情報発信し、スイミングスクールでは目標としていた受講生300名を達成した。
- ④ 「ひばり30周年感謝祭」では、プール無料開放やサップヨガ無料体験を実施し、新規のプール利用者の開拓に努めた。

## (1) スクール・教室開催事業

### スイミングスクール・テニススクール・艇庫

- ① 滋賀県選手権水泳競技大会および県中体連、県高体連に受講生が多数出場し、1名が優勝するなど好成績を収めた。
- ② 鹿児島国体のオープンウォータースイミングに1名、競泳に2名の受講生が出場した。
- ③ (一社)日本スイミングクラブ協会認定の泳力資格級に本年度は147名が合格した。
- ④ 学校水泳はマキノ西小学校、朽木西・東小学校およびマキノ中学校から依頼があり、当施設において実施した。
- ⑤ 艇庫活動においては、コロナが5類に移行したことで、3団体が計6回利用したほか、海洋クラブ活動も通常に戻り、艇庫活動期間中(6月～9月)322名が活動した。また、カヌー教室は天候にも恵まれ予定どおり全11回開催し、参加者は延べ37名となった。
- ⑥ テニススクールにおいては、公認指導者2名を中心に健康づくりから競技力向上まで幅広く教室を開講した。また、9月に実施した「ひばり30周年感謝祭」ではプロテニスプレイヤーを招いてのテニスクリニックを行い、受講生獲得に努めるものの受講者数は伸び悩んでいる。

スイミングスクール			
コース	対象	実施回数	延べ参加人数
本科(幼児・ジュニア)	4歳～中学生	658回	10,976名
競泳	小中学生	278回	3,306名
成人	18歳以上	225回	1,124名
プライベート	小学生以上	75回	75名
グループ	小学生以上	5回	12名
学校水泳教室	小中学生	13回	280名
泳力認定	25m泳げる方	8回	147名

テニススクール			
コース	対象	実施回数	延べ参加人数
シニア	65歳以上	29回	61名

コース	対象	実施回数	延べ参加人数
一般成人	18歳以上	随時	496名
ジュニアA	5歳～7歳	13回	26名
ジュニアB	7歳～9歳	94回	589名
ジュニアC	9歳～15歳	98回	559名
ジュニアD（選手）	13歳～18歳	164回	569名
プライベート	全ての方	36回	68名

その他事業（艇庫）			
事業名	対象	実施回数	参加人数
カヌー教室	小学生	11回	37名

## （2）健康づくり事業

- ① 今津公民館事業の市内小学生を対象とした水泳教室を受託し、今津弘川プールを実施会場として全5回行った。
- ② 施設利用者を対象とした山登り事業を実施し、6月には近江坂古道、10月には朽木の蛇谷ヶ峰を歩いた。
- ③ アクアビクス事業は大変好評で年間1,200名以上が参加された。その他、様々な健康づくり事業を開催し、市民の方をはじめ多くの方の健康維持増進に寄与した。
- ④ 現在実施している健康づくり事業を外部の有識者の方々に評価していただく「健康づくり事業外部評価委員会」を10月と3月の2回開催し、様々な意見やアドバイスを頂戴した。

事業名	対象	実施回数	参加人数
やさしいヨーガ	18歳以上	42回	319名
トレーニング講習会		12回	48名
水中歩行		40回	504名
アクアビクス		81回	1,231名
アクアエクササイズ		9回	114名
脂肪燃焼運動		38回	586名
登山		2回	16名
いきいきトレーニング倶楽部	60歳以上	24回	93名
公民館水泳教室（受託）	小学生	5回	69名

### (3) 大会イベント等開催事業

- ① 9月17日に「ひばり30周年感謝祭」を開催し、サンルーフではテニスクリニック、プールではサップヨガ体験および一般利用無料開放を実施した。また、キッチンカーや露店の出店も依頼し、イベントの最後にはビンゴ大会を行い延べ500名が参加された。
- ② グラウンドゴルフ大会は当初の予定どおり、月例会10大会とチャンピオン大会の計11大会行い、1大会平均で100名の参加者があった。また、ゲートボール大会は3大会を開催し、9月大会はコロナ前の40チームに戻して実施し、延べ509名が参加された。
- ③ スイミングスクール無料体験イベントは年間14回行い、SNSでの告知や Google フォームからの申し込みを可能にしたことで参加者数が増加し、46名が本科へ新規入講した。また、テニススクールも無料体験を行い13名が参加した。
- ④ スクール生を対象としたイベント「いちご狩り遠足」は募集人数を超える23名が参加し、好評であった。また、プールでヨットやカヌーを楽しんでもらえる「プールでマリンスポーツ体験」も12名が参加した。

事業名	対象	実施回数	参加人数
水に賢い子供を育む年間型プログラム	市内小学生	2回	23名
グラウンドゴルフ月例会	18歳以上	10回	955名
グラウンドゴルフチャンピオン大会		1回	58名
ゲートボール大会		3回	509名
スイミングスクール無料体験	4歳から小学3年生	14回	66名
テニススクール無料体験	小中学生	10回	13名
プールでマリンスポーツ体験	小学生	1回	12名
いちご狩り遠足	スクール受講生	1回	23名
ひばり30周年感謝祭	全ての方	1回	500名

### 3 ふるさと自然体験交流事業(公益目的事業2)

#### (1) 自然体験・観察事業

- ① 自然体験事業の「世界の昆虫展とカブトムシの里」は、7月15日から8月20日の期間で開催し、カブトムシの手掴み体験や、普段見られない外国原産のカブトムシ等の観察や写真撮影を行い、期間中は子ども連れの家族を中心に多くの参加者で賑わった。
- ② 毎年恒例となっている人気体験イベントの「星空観察会」は3回の開催であったが、毎回満員になり好評を得た。

事業名	対象	実施回数	参加人数
星空観察会	全ての方	3回	59名
世界の昆虫展とカブトムシの里		33日	1,118名

## (2) ふるさと体験等レクリエーション事業

- ① 団体客の回復に伴い、大勢で楽しめるはんごう炊爨体験やカレー作り等の調理体験が人気で流しそうめん体験も好評であった。
- ② グラウンドゴルフ場近くの芝生スペースに新たな子ども用の遊具を設置し、宿泊者の要望に応えた。
- ③ そば打ち体験は高島市周遊観光アプリやふるなびトラベルに掲載していただいたほか、3年前から開始したインターネット予約も定着し、団体客は少ないものの1,465名が体験された。

事業名	対象	実施回数	参加人数
春山開き	全ての方	1回	17名
流しそうめん体験		1回	15名
はんごう炊爨		26回	1,053名
宝探し体験		1回	27名
ウォーターバトル体験		3回	65名
絶叫ブランコ・絶景遊歩道		242日	18,000名
そば打ち体験		随時	1,465名

## 4 収益事業(施設利用者への利便提供事業)

### (1) 家族旅行村ビラDEST今津

- ① 「レストハウス赤坂平」では、宿泊者をメインに和食から洋食まで幅広く提供した。また、平日にグラウンドゴルフパックを利用して日帰りで来られるお客様への各種定食が人気だった。
- ② 「バーベキューの館」では、団体客もコロナ前に戻りつつあり、夏休みを中心に土日は多くの方が利用され賑わった。

- ③ 昨今のキャンパーによる焚き火ブームにより、薪の販売や焚き火台等のレンタル需要が多く、キャンプ用品の充実を図り対応した。

## (2) 体験交流センターゆめの

- ① 「ダイニングゆめの」では、レストランホールの一部をキッズスペースに改装したほか、屋外南側の芝生地に飲食できるスペースを設置し、休日には子ども連れのファミリーが多く利用された。
- ② 食事メニューでは、新たに「子どもランチ」・「おろしそば」、テイクアウトドリンク等販売した。また、運動公園で開催された各種大会や合宿でのお弁当販売も好評であった。
- ③ 高島市商工会が発行している「おもてなしパスポートラリー」に参加したが、利用者は限定的で効果は薄かった。

## (3) 箱館そば鳴野

- ① コロナ禍で密を避けるため座席数を減らして営業していたが、5類への移行もありコロナ前より座席数を増やしランチタイムに対応した。
- ② 電気・ガス・人件費に加え、食材価格の高騰に対応するため、食事メニューの価格を一部値上げした。
- ③ 本年度は暖冬で積雪が少なく行動しやすいこともあり、客足が伸び来店者数は2万人を超えた。また、値上げの影響も若干はあるが売上は3,300万円と過去最高となった。